

おはようございます。

4月1日に久寺家中学校に着任しました校長の稲村と申します。前任校は我孫子東高校で高校生を相手にこうやって話しておりましたので景色の違いに少し戸惑っています。それ以上に皆さんも新型コロナウイルス感染拡大防止のため違った景色となり、少なからず不安があると思います。

この式も本来ならば新しく着任された先生方の紹介を先に行うべきですが、できるだけ時間を短くするためにこのような形にさせていただきました。この後の職員紹介の中で簡単に紹介させていただきます。

さて、今回のこの非常事態で皆さんは何を感じていますか、皆さんは小さくてあまり記憶にないかもしれませんが、9年前の東日本大震災の時とは違ったものがあるように私は感じています。その大きな違いは、先が見通せないという点だと私は思います。東日本大震災の時も今までに経験のないようなことが起こりました。社会の流れや考え方も大きく変わるきっかけとなりました。でも、一つ一つ乗り越えていけば時間はかかっても生活を復旧できるように感じていました。今回は先が見えない不安が大きくあります。一つ一つ目の前にある課題を我慢しながらクリアしていくほかはないと感じています。でも、悪いことばかりではなくいろいろなことに気づかされ、考える力をつけるチャンスだとも思っています。

例えば、「マスク」というキーワード一つでも「繋がり」「知恵・工夫」など、気づくことは沢山あると思いませんか。中国で感染が広がり始めたときはよその国のことで、マスクがなくなるとは私は予想できませんでした。感染が広がり、労働力がなくなり、工場が止まってしまい、マスクが作れなくなり、本当に必要な時のマスクがない。これは「つながり」ですよね。「知恵・工夫」は無くなったら並んで待つのではなく、マスクを作ってしまうと沢山の人や企業が知恵を絞り、工夫してマスクや代用品を開発しました。

大きなところで話しましたが、必ず人は誰かと何かと繋がっていて、あなたの存在や行動が必ず誰かに影響を及ぼしているということ。どのような問題も「知恵と工夫」でなんとかできるということ。色々なことを今回はコロナウイルスが教えてくれているように感じています。そのように捉えて、みんなで考え、協力して一日一日を大切に過ごしていきましょう。みなさんのエネルギーと活躍に先生方、保護者の方、地域の方は期待しています。一緒に頑張っていきましょう。

令和2年4月6日

我孫子市立久寺家中学校
校長 稲村 光 男